

熊本県がん予防対策企業等連携協定について

1 がん予防の現状

本県では、昭和55年以降死亡要因の第1位は、がんです。

平成20年、がんによる死亡者は、5,162人で全死亡者の約28%を占め、年々増加しています。（昭和40年：2,064人）

がん予防の第一は、早期発見、早期治療です。県、市町村では、平成24年度までにがん検診受診率50%を目標にがん予防に取り組んでいますが、現在は、約30%程度と低い状況です。

2 企業等との連携

今回、新たに企業等で働く皆さんやご家族、ひいては多くの県民の皆さんの健康づくりを推進するため、がん予防に協力いただける企業・団体を募集しています（平成22年6月10日から募集）

応募企業等は、がん予防やがん検診受診率アップのための啓発活動の実施等を内容とした協定を県と締結し、協働してがん予防対策に取り組んでいただきます。

3 具体的な取組み

応募企業等は、従業員の方やそのご家族にがん検診受診の勧奨及び社内等においてのパンフレットの配布やポスターの掲示等によりがん予防に取り組んでいただきます。

県は、協働してキャンペーンの実施及び社内のがん予防推進員の人材育成等を行います。

4 現在までの応募状況（6月22日現在）

生命保険会社	2社
金融機関	1社
その他	1社

【参 考】

1 企業等の応募要件

県内に主たる事業所又は支店等があり、がん検診の受診啓発活動に意欲のある企業や団体

- ・ 企業等の業務内容ががん予防、受診率向上の取組みに関連している企業等
- ・ 地域密着型で県民と接する窓口を多数有する企業等
- ・ その他、企業等の提案する取組みが県民の受診促進に大きな効果が期待できる企業

担当課

健康福祉部健康づくり推進課 健康づくり企画班
内線7074 TEL 096-333-2208（ダイヤルイン）

担 当：沼田、松尾

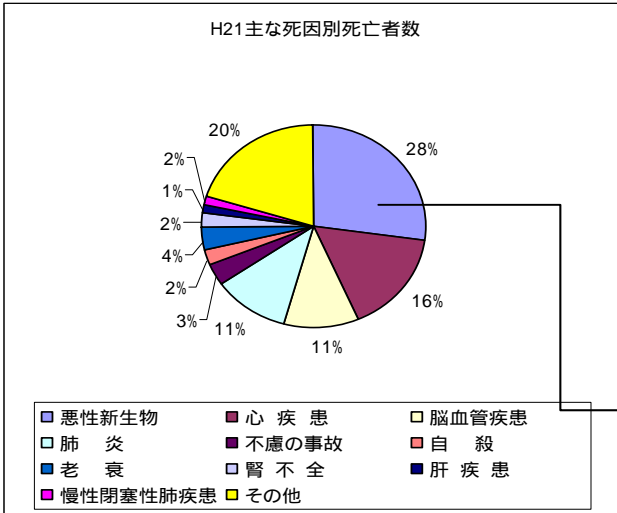
熊本県のがんの状況

1 がんによる死亡者数

平成 20 年度のがんによる死亡者 5,162 人で全死亡者(18,951 人)の 27.2%を占め、約 3 人に 1 人が亡くなっています。

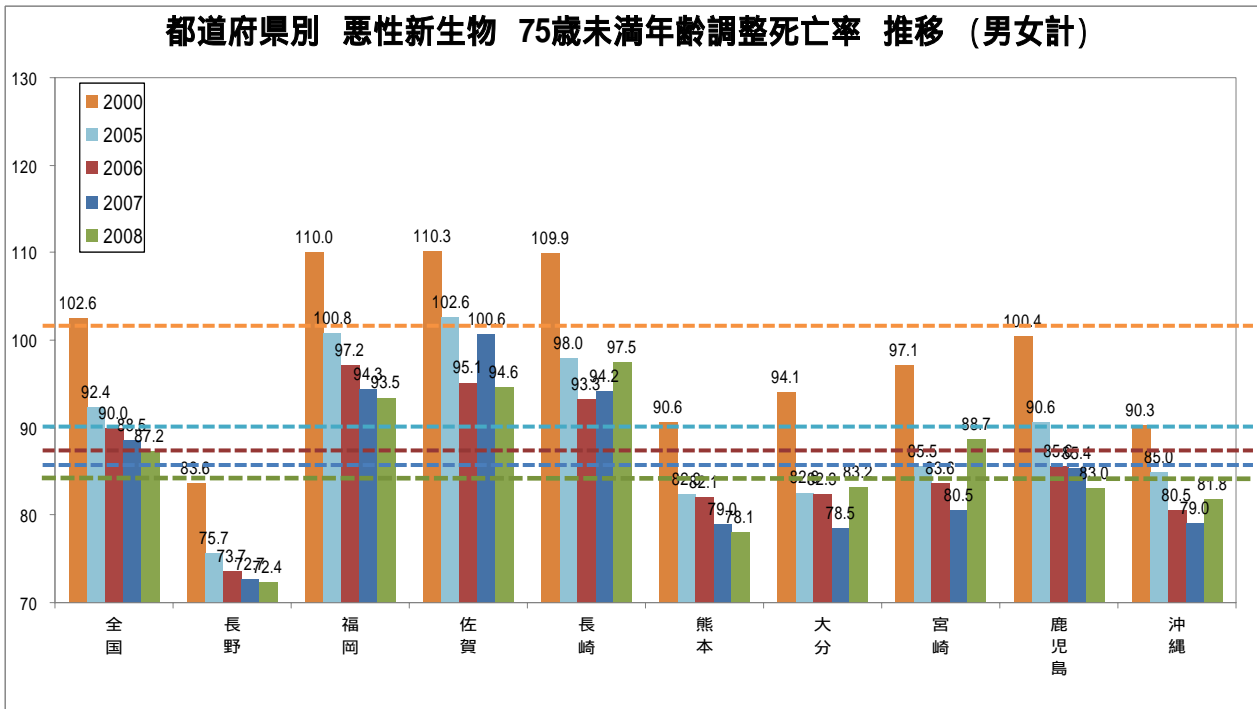
また、年齢調整死亡率(年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率:人口 10 万対である。)は、78.1 で全国第 2 位です。

【H20 主な死因別死亡者数、経年の部位別がん死亡者数】



年次	胃	大腸	肝臓	膵臓	肺	乳房	子宮
H15	621	523	639	305	901	126	100
H16	570	528	639	341	997	164	80
H17	535	543	673	399	974	154	100
H18	618	508	633	356	1,002	159	120
H19	583	586	632	384	978	154	101
H20	591	592	616	373	1,079	175	94

【年齢調整死亡率】



全国及び九州各県別 悪性新生物(がん)75歳未満年齢調整死亡率
年次推移(男女計)(厚生労働省「人口動態統計」を基にした国立がんセンターの計算値)

死亡率の低い都道府県(2008年)

長野県 72.4 熊本県 78.1 滋賀県 78.3 福井県 78.4 岡山県 78.4 全国 87.2

2 がん検診受診率（平成19年度国民生活基礎調査結果）

国民生活基礎調査によるがん検診受診の結果は以下のとおりです。

【単位：（％）】

区 分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
熊本県	32.7	30.2	28.2	24.6	27.8
全 国	28.7	23.3	24.9	21.3	20.3

* 国民生活基礎調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査。国勢調査区から層化無作為抽出した5,440地区内の全ての世帯及び世帯員が客体。本県は100地区(うち熊本市39地区24市町村61地区)が調査対象となっている。

以上